

| 学校教育目標 | | 将来、国際的視野に立つて社会の進展に貢献できる人材の育成に努める。このために明朗で秩序ある学校生活をととして教養を高め、心身を鍛え、自主的に創造性豊かな人間形成を期す。 | | | | | <small>(評価基準) A 十分に満足 B ほぼ満足 C やや不満足 D 不満 E 判断できない</small> | | 〈評価基準〉 | | | | | | | |
|--------------|--|---|--|---|--|-------|--|-------|--------|-------|-------|--|--|--|---|---|
| 重点目標(中長期的課題) | | 確かな学力の保障と自立した個の育成をめざす | | | | | A | B | C | D | E | A 十分に満足 B ほぼ満足 C やや不満足 D 不満 (E 判断できない) | | | | |
| 年度重点目標 | 1 | 生徒の目指す進路実現を支援する | | | | | 5.3% | 86.8% | 0.0% | 0.0% | 7.9% | B | | | | |
| | 2 | 人権を尊重した学校生活のルール・マナーの向上を図る | | | | | 5.3% | 92.1% | 2.6% | 0.0% | 0.0% | B | | | | |
| | 3 | いじめを許さない安心で安全な学校作りをすすめる | | | | | 13.2% | 81.6% | 5.3% | 0.0% | 0.0% | B | | | | |
| | 4 | 部活動・生徒会活動・ボランティア活動などの充実を図る | | | | | 13.2% | 76.3% | 10.5% | 0.0% | 0.0% | B | | | | |
| 具体的目標 | | 具体的方策 | | | | | A | B | C | D | E | 職員の評価 | | | | |
| A | 授業の充実を図るとともに、生徒の家庭学習を習慣にさせる。 | ① | 進路実現の基本は授業であることを理解させ、集中して授業に取り組む姿勢をつくる。また、予習・復習をして授業に臨むことを促し、家庭学習習慣を身につけさせる。また、自学自習の大切さを理解させ、学習室や多目的教室の利用を促す。 | | | | | 2.6% | 89.5% | 7.9% | 0.0% | 0.0% | B | 他校と比較して、進路の希望が多様だが、本人や保護者の臨む進路が実現できるように引き続き、指導をお願いしたい。 ・大学進学希望者については、自覚をもって学習に向かう姿が見られ、職員も丁寧な取り組みができていていると思う。しかし、進路が多岐にわたるため、これまでに見られた安易に進路を決めていく生徒の指導をどのようしたら良いかが課題であると思われる。 ・家庭学習時間の増加への取り組みが必要(宿題ではなく、自主的な学習時間の増加) | | |
| | | ② | 受験に向けた学習内容を意識し、早くから準備に取り組むための指針を示す。また国立大学を目指す生徒には、「5教科7科目」の意識付けと学習集団作りもさせる。 | | | | | 0.0% | 65.8% | 26.3% | 0.0% | 7.9% | B | ・今年度6月の第1回学校評議員会における計画に対して、今年度の3年生については、大学入試共通テストは出願者率7割を超え、結果を上げつつある。学習室の状況を見ても努力を継続する生徒が増えている。 ・教科「情報」の扱いが不透明であることへの不安がある。必須受験科目であり続けなければならない教育課程では共通テスト受験はかなり厳しいと思う。 ・確かに、教員側からすれば4年制大学・国立大学向けの学習への意識付けさせたいところであるが、実際の生徒の志望傾向は大変多様な状況もあるため、学習意欲の低い生徒をいかに引っ張っていくかが課題である。 | | |
| | | ③ | 校内授業公開などを通じて授業の方法を研究しあうとともに、授業アンケートを実施し自らの授業を省みてさらなる向上をはかる。 | | | | | 2.6% | 71.1% | 18.4% | 0.0% | 7.9% | B | ・校内授業公開期間中に、活発に互いに授業を見あっているとは言えない、自分の授業が前年と比べて「向上」したのかは、自分ではなかなかわからないため、授業アンケートは引き続き実施してほしい。 ・授業アンケートについては実施しても良いと思うが、例年心無い話があるため、生徒にはしっかりと話をし、理解させたいので行って行くべき。職員の心が折れてしまう。 ・自分自身に時間的な余裕がなく、他の先生の授業を見ていただく時間が持てなかった。 | | |
| B | 補習授業・模擬試験等への積極的参加を促す。 | ① | 長期休業中や放課後の補習を充実させ、多くの生徒の参加を呼びかける。 | | | | | 10.5% | 60.5% | 15.8% | 0.0% | 13.2% | B | ・クラブ活動の時間は確保してほしい。部活動の活性化とどう両立させるかが課題。 ・放課後補習を夏休み明けすぐに始めたかったが、コロナの影響で遅れてしまった。また朝補習は、時間も30分しかとれず寒い時期になると出席者が減ってくるので、放課後2コマとか、放課後中心に考えた方がよい。 ・補習については、部活動の時間確保と学年によっては両立したい面がある。あらかじめの計画と職員間の情報共有が必要となる。 | | |
| | | ② | 小論文・面接指導については、必要に応じて個別指導を行い、指導を有効なものとする。 | | | | | 21.1% | 65.8% | 7.9% | 0.0% | 5.3% | B | ・今年度の3学年は、学年中心に指導体制を作っていたようだが、本校の良さは全職員が生徒に関わる場所である。みんなで進路実績を上げていく、部活動指導に当たる、落ち着いた校風を作るといったことが大切であると考える。 ・総合選抜型、学校推薦型の面接練習で、3年の探究学習の時間を計画通り活用し、正副担任団で対応できたことは良かったと感じる | | |
| | | ③ | 進学模試・公務員模試等を実施し、1・2年生は生徒全員、3年生は必要とする生徒全員が受験するように促す。また模試の解説講座等機会をとらえて様々な学習を有効に活用していく。 | | | | | 7.9% | 73.7% | 10.5% | 0.0% | 7.9% | B | ・参加者数の経年変化がわからないため、判断できない。「促す」ことは難しいが、このような目標を立てるとすれば経年変化のデータが必要ではないか。おそらく趣旨は外部の模試に挑戦しないことを防ぐ表現だと思われるが、就職、専門学校等への進学実績を加味して「全員」と表現すること、またそもそも模試や模試解説を学校評価の対象としている表現が適切かどうか検討してほしい。 ・1、2年生が全員受験する流れは現行通りで良いと思うが、進路が決まった3年生をどこまで模試や共通テスト受験で引っ張るのかについては再考の余地があると思う。 ・2年次から公務員希望者は対策を講じてきたが、結果として合格者1名という厳しい現実を突きつけられた。職種の違いも考える必要があると感じた。 | | |
| C | 生徒個々に応じた進路実現の支援をし、進路情報の発信に努める。 | ① | 進路講演会・就業体験等を行うことによって、望ましい職業意識を育成する。また進学・就職を目指す生徒が自己の将来の生き方や具体的な進路を考えさせるため、キャリア教育を推進する。 | | | | | 2.6% | 84.2% | 5.3% | 0.0% | 7.9% | B | ・LHRや探求の時間を計画に基づいて活用した取り組みが多くされている。一方で地域の行事への参加が、県教委等からのコロナ規制により難しくなっていると聞いているが、来年度以降は地域の行事へ参加してほしい。 ・近隣に、商業、工業、医療、教育・保育施設等があるのだから、職場体験学習を探究の時間に位置付けて取り組んでみるのも面白いと思っている。 ・就業体験のチャンスが、コロナ禍で減ってしまったことがおおく、生徒の職業理解が深まらなかった。 ・現在はコロナ禍から以前の態勢に戻す道程で、できる限り良いこととしてはしているのではないか。 ・保育実習で来た東高校の生徒さんたちは、園児たちに対してたかかわりではなく、どう楽しんでもくれるかを考えてくれた。先生方の指導のあとがうかがえた。 | | |
| | | ② | 大学・短大・専門学校の学校見学や公開授業への参加を促す。また、看護医療系希望者には医療現場体験をさせる。 | | | | | 10.5% | 73.7% | 10.5% | 0.0% | 5.3% | B | ・志望校のオープンキャンパスには、ほとんどの生徒が自主的に参加することができた。 ・総合型、学校推薦型を考えている生徒は、自主的・主体的に校内外の活動に参加したという経験が、大変重要である。また推薦書に学力の三観点に照らしての記述が我々にも求められる。ぜひ積極的に参加できるように呼びかけていきたい。 ・民間就職希望者は第一志望の企業に内定をいただけた。 ・民間就職の希望者は、一応100%内定だが、進学希望者が直前で就職希望に変わった者が多く、十分な意識付けができたかどうかは不安である。 | | |
| | | ③ | 就業体験・講演会等で就職希望者の意識を高めさせ、内定率100%を目指す。 | | | | | 15.8% | 65.8% | 2.6% | 0.0% | 15.8% | B | ・本校では週32時間の授業を行うようになったため、生徒の実態や職員の負担を踏まえて、あり方を検討していく必要だと思われま。例えば10分間のSHRで、連絡が終わった残り時間は読書、という形でも、貸出冊数、進学実績など成果を上げている学校があります。 ・本はよく読んでいます。朝SHRの時間が20分は長い。 ・朝のSHRに連絡事項が多く、とりわけ健康チェックや県教委等からの調査やアンケート関係に時間を取られ、朝読書の時間を確保することが難しい。朝SHRの時間の変更を検討したい。 ・東高校の生徒さんは挨拶をしてくれる生徒さんがいて嬉しい。部活動で外周を走っている際に挨拶してくれることもあり、引き続きこのような習慣が身につくように指導してほしい。 ・担任を含め職員は日々の声がけ、立ち番等、頑張っていると思う。朝の登校時間は、家庭の協力に頼る部分が大きいと思うので、現状と取り組みについてしっかりと保護者に伝えていくことが大切ではないだろうか。月間の遅刻数が生徒指導から示されているので、きずなで配信する。学年通信に掲載する等、やらないよりやった方がよいのではないかと考える。 ・職員による毎朝の立ち番を感じるのだが、朝の挨拶を気持ちよく返してくれる生徒が少ない。 | | |
| D | 朝の読書の時間を充実させ、読書の習慣を定着させる。 | 全職員で読書指導に取り組む。実態調査を実施し、全体の足並みを揃えて推進していく。 | | | | | 2.6% | 47.4% | 34.2% | 2.6% | 13.2% | B | ・本校では週32時間の授業を行うようになったため、生徒の実態や職員の負担を踏まえて、あり方を検討していく必要だと思われま。例えば10分間のSHRで、連絡が終わった残り時間は読書、という形でも、貸出冊数、進学実績など成果を上げている学校があります。 ・本はよく読んでいます。朝SHRの時間が20分は長い。 ・朝のSHRに連絡事項が多く、とりわけ健康チェックや県教委等からの調査やアンケート関係に時間を取られ、朝読書の時間を確保することが難しい。朝SHRの時間の変更を検討したい。 ・東高校の生徒さんは挨拶をしてくれる生徒さんがいて嬉しい。部活動で外周を走っている際に挨拶してくれることもあり、引き続きこのような習慣が身につくように指導してほしい。 ・担任を含め職員は日々の声がけ、立ち番等、頑張っていると思う。朝の登校時間は、家庭の協力に頼る部分が大きいと思うので、現状と取り組みについてしっかりと保護者に伝えていくことが大切ではないだろうか。月間の遅刻数が生徒指導から示されているので、きずなで配信する。学年通信に掲載する等、やらないよりやった方がよいのではないかと考える。 ・職員による毎朝の立ち番を感じるのだが、朝の挨拶を気持ちよく返してくれる生徒が少ない。 | | | |
| E | | 「生活のきまり」に沿った生活態度を心がけるように全職員で指導し、高校生としてふさわしい身だしなみに整えさせ、基本的な生活習慣の確立を図る。 | ① | 授業を大切にす姿勢を身につけるため登校指導を行い、遅刻の防止に努めると同時に生徒相互や生徒職員の挨拶を習慣づけ、遅刻者を1日平均3.5人未満にする。 | | | | | 7.9% | 76.3% | 13.2% | 0.0% | 2.6% | B | ・生徒が管理しなかったことによる紛失や不明の物品を、学校の責任にしようとする保護者がいるようだが、入学時等で引き続き指導したい。 ・ロッカー等を施設しない生徒が多いが、繰り返し言っても聞かせるしかない。盗難が起こってからでは遅いが、指導していたかどうかを問われたとき、困らないようにかく言い続けておいた方がよい。 ・清掃中にスマホを見ている生徒が多いため、清掃中にスマホ使用禁止を徹底したい。 | |
| ② | | | 始業前・昼休み・放課後以外の携帯電話・スマートフォンの使用を禁止した校内規定を生徒自らが遵守するように全職員が歩調を合わせ指導する。またロッカーに鍵を掛け、自己の持ち物や貴重品の管理が徹底できるよう指導し、盗難事件の防止に努めるとともに学習環境の整備にも取り組む。 | | | | | 5.3% | 76.3% | 15.8% | 0.0% | 2.6% | B | ・登下校中の生徒さんの様子は特に気になることはない。 ・職員のみから見ると、制服着用日の身だしなみが不十分と感じる生徒、クラスがある。コロナによって全校集会などが無い影響もあり、意識や緊張感に欠ける面があり、地域や道路関係の行事など対外的な場面でしっかりと目星を付けていきたい。 ・引き続き、全職員が同一歩調で対応する必要がある。 | | |
| ③ | 高校生として相応しい身だしなみを身につけさせるように、全職員が意識を統一して指導に当たる。年8回の頭髪検査を実施し、茶髪・特異な髪型については改善指導する。また気がついた段階で改善指導する。 | | | | | 2.6% | 73.7% | 23.7% | 0.0% | 0.0% | B | ・第1回学校評議員会でも自転車事故については話題になっていたが、年間を通じて行われている指導を継続してほしい。 ・自転車の乗り方やマナーについて引き続き指導をお願いしたい。対向車が来るとよけてくれる生徒さんがいる一方で、イヤホンをつけたまま自転車を運転している生徒さんもいる。 ・交通事故が多い状況は毎年変わらないが、それでも学年が進むにつれて減ってきているようにも思うので、呼びかけていくことを継続していきたい。 | | | | |
| G | 「いじめ」が人権を侵害する行為であること等を啓蒙し、「いじめ」について考える取り組みを学校生活の様々な場面において日常的に行い、予防・根絶に努力する。 | 日々の授業や特別活動など様々な場面において自己有用感や人権感覚を育む教育活動を行う。また、アンケート調査を年3回実施(学期末調査前)し、「いじめ」の有無の把握に努める。保護者に対しては1学期保護者懇談の際にアンケート用紙を配布し、把握に努める。また「いじめ」が確認された場合は、「いじめ対応マニュアル」に沿って、各部署で連携をとりながら、臨機応変に対応していく。 | | | | | 7.9% | 81.6% | 7.9% | 0.0% | 2.6% | B | ・本校からの転学者数が増加している。前向きな進路選択としての転学もあるが、様々なコロナ規制の影響で生徒の姿勢に変化が生じている。 ・転学者の増加について、文科省や県教委は原因や対策を示さないことが予想される。ブラックな環境の中、長野県高校の先生方には一人一人をよく見て、よく対応して頂いている。 ・2期生のOBとして、生徒には責任感を持つ心、自分で責任を取る力を育ててほしい。自分たちの問題は自分たちで罰則を考えさせるなど、指導の工夫をしてほしい。 | | | |
| | | H | 生徒会活動やボランティア活動等を通して地域の方々との交流を持ち、学校と地域との連携を図る。また、校内の美化はもちろんのこと、学校周辺を含め地域の方々とも協力して環境整備を行えるような活動をする。 | ① | 新しい企画を入れ委員会の活性化を図り、委員の自覚と意識を高める。特に文化祭・クラスマッチ等の生徒会主体の行事では生徒自ら企画・運営・実践が出来るよう支援する。また、それらの取組みを通して、コミュニケーション能力や人間関係形成力を育てていく。 | | | | | 15.8% | 81.6% | 0.0% | 0.0% | 2.6% | B | ・今年度は文化祭は一般公開せず、校内のみでおこなわれた。プロジェクトマッピングやクラスの動画等、創造性や完成度の高いものができ、コロナ禍にありながら新しい姿勢が生まれつつある。 ・保護者としては文化祭など子供が活動する様子が見たかった。とりわけ今年度の3年生は修学旅行もなく、学校へ赴き子どもの様子を見る機会がなかった。オンラインで配信はしていたようだが、コロナ禍でも公開の方法を考えてほしい。 |
| | | ② | | 校外ボランティアセンターや諸団体と連携をし、適切な情報収集を行うとともに、活動内容の周知を図る。また、生徒が安全に活動に取り組むことができる校内支援体制について研究する。活動を通して地域や人の大切さを学ばせる。 | | | | | 5.3% | 65.8% | 13.2% | 2.6% | 13.2% | B | ・コロナ禍から徐々に戻っている過程であると思うが、生徒の活動の場が少ない。部活動を辞めたり未加入の生徒が多いので、もう少し提携できることがないか考えてほしい。 ・生徒が積極的にボランティアに参加することは、地域や社会貢献に大いに役立つので、持続可能な目標として継続し続けてください。 ・校外の大人の話を聞く、あるいは大人と一緒に活動することで何かを学ぶという経験は「主体的」な活動が評価される中で進路を切り開く上でも大変重要な経験となると思うので、今後とも進めてほしい。 | |
| ③ | 日常の清掃活動を通して、生徒一人ひとりの校内美化の意識を高める。さらに、清美委員会による定期的な美化活動や各学年毎の環境美化作業による校内美化を図る。また清掃用具の定期的点検と清掃用具庫の整理・管理を行う。 | | | | | 2.6% | 86.8% | 7.9% | 0.0% | 2.6% | B | ・計画されていたMワークにおける清掃、整備活動はコロナ規制によって中止になった。来年度も地域に貢献できるよう準備したい。 ・地域の道路の雪かきしてもらったことは大変助かっている。 ・グラウンド周りの草取りを生徒さんらでもらえるとありがたい。グラウンドに芝の種を蒔いてみたかどうか。 | | | | |
| I | 部活動の活性化を図る。 | ① | 集团的・自主的に活動を行う事により、より高い水準の技能や記録に挑戦する中で、協調性を学び活動の楽しさや喜びを味わい、充実した学校生活を送れるように支援する。 | | | | | 2.6% | 86.8% | 5.3% | 0.0% | 5.3% | B | ・「主体的、協動的」というキーワードから、グループで何かをする活動を探究等に問わず様々な場面で取り入れていきたい。 ・公民館活動に参加してもらっている時はありがたかった。コロナ禍で県からの規制があった時は参加してもらえず、交流の機会が断たれたので、来年度以降は期待している。 | | |
| | | ② | 各クラブ毎の具体的な目標を設定するとともに、昨年より多く県大会以上の参加ができるように努力する。 | | | | | 13.2% | 68.4% | 15.8% | 0.0% | 2.6% | B | ・女子駅伝の全国優勝、おめでとうございます。地域代表として誇らしいと感じました。今後、また他の部活動の活躍にも期待します。 ・駅伝優勝報告会は、手作りとはいえずとまっていた。生徒も進行に関わっていた。自分たちで考えて立派にやっていた。今後も生徒さんに主体性を持たせる指導を続けてほしい。 ・放課後職員がクラブに行けるように業務を精選するべきである。 ・部活動に打ち込んで自己を向上させよう、という生徒が減ってきている気がする。また「楽しむ」部活動なのか、高い目標を目指すのか、部活動に求めていることも多様化してきている。部の進む方向性を、節目ごとにしっかりと確認していくことが大事であるが、生徒にまかせきりでなく、顧問の関わりというのも重要であるように思う。 | | |
| J | 地域からの意見を幅広く取り入れ、地域に信頼される学校を目指す。 | 学校公開・学校説明会・体験入学を実施し、保護者・地域の方々・中学生の参加者増を目指す。また広報誌の1ののめりるを発行し、中学校への配布、地域への回覧を行う。HPの充実及び更新回数増加のほか、最新ニュースを掲載する。中学校訪問を実施し、学校生活の様子や実績などを報告するとともに、アドミッションポリシー等の情報を提供する。 | | | | | 5.3% | 84.2% | 5.3% | 0.0% | 5.3% | B | ・学校の様子の発信が足りない。せっかくのよい取り組みが周知されていないのが残念。 ・対外的な公開は活発に実施することができた。内容や方法についても職員間の議論によって改善することができた。 ・昨年の学校評議員会でも、広報や発信について指摘されたため、今年度HPは昨年度より頻りに更新されることができた。 ・広報活動はもう少し頑張りたいが、HPは見ようと思う人しか見ない限界がある。紙ベースでの広報紙は費用と手間、地域の区長さんらに負担をかけてしまい、不要方には無駄なものになってしまう点も課題。 | | | |
| | | K | 学校運営では安全確保を図り、一斉連絡網を利用し、学校と保護者との情報共有に努める。 | ① | 大地震等の対応を含めた防災体制を見直し、休日や勤務時間外の防災体制の確立を図る。 | | | | | 0.0% | 71.1% | 10.5% | 7.9% | 10.5% | B | ・担当者の尽力により防災体制は昨年度より整備されつつある。学校安全計画もHP上に掲載することができた。今後は、災害時の生徒対応(通信手段が立たれている場合の体校等の連絡方法、災害発生時に登校している場合の保護者への引き渡し方法、生徒が帰宅できない場合の校内での対応)や本校が災害時の避難所になることに伴う職員の分担等について、検討していく必要がある。 ・職員の体制は良いとして、生徒の災害時家庭への受け渡し方法など、課題が残ってしまったので、来年度はこの課題等も整備する。 ・大豆島地区の防災施設として期待したい。 |
| L | 常に交通法規を遵守し、交通事故の防止に努める。生徒へのセクシャルハラスメント及びわいせつな行為が発生することのないよう厳に注意をし、また体罰はいかなる理由があろうとも行わない。そのために各種研修会を企画する。 | | | | | 10.5% | 78.9% | 2.6% | 2.6% | 5.3% | B | ・機転変更等によって生徒、保護者全員に情報が伝わっていないかわからないが、連絡は行うことができている。本校では中部電力の絆システムを使っているが、部活動単位や複数の個人への送信、教頭以外からの送信が難しかったが、今年度いくつかの高校はオクレンジャーへ変更している。が、オクレンジャーは費用が高く、また在校生は改めるとの登録となるため、業者の変更には慎重な検討が必要になる。 ・いじめもそうだが、生徒の認識によって非違行為が定義されているため、職員は慎重な言動が必要になる。引き続き、注意喚起をしていく。 | | | | |